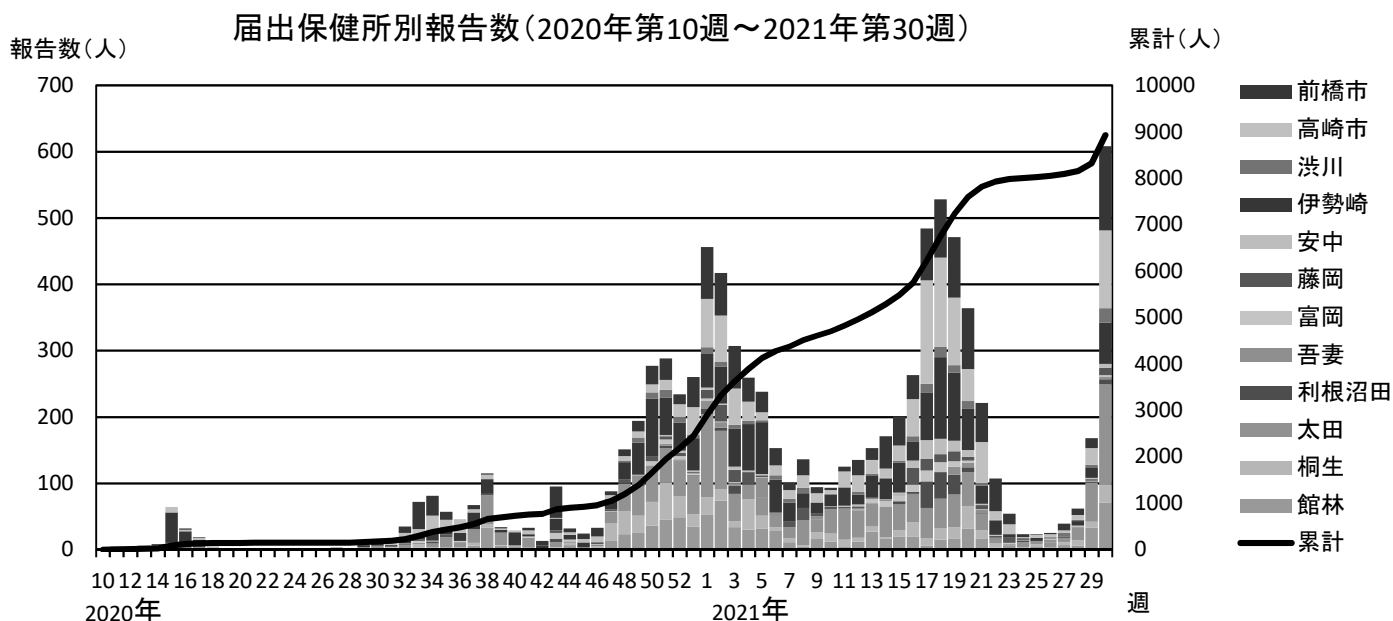


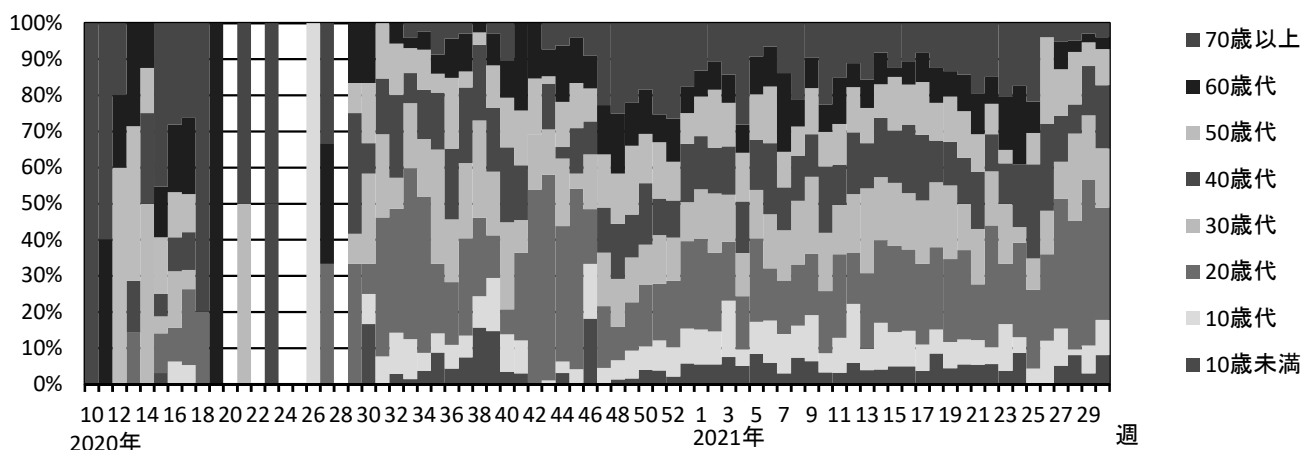
● 新型コロナウイルス感染症 (2021年8月2日 9:00現在 暫定値)

- ◆ 2021年第30週 (~8月1日) までの県内で報告された新型コロナウイルス感染症患者は、男性4,954名、女性3,972名、計8,929名でした。
- ◆ 7月の報告数は823名で、6月の報告数201名から大きく増加しました。届出保健所別では、太田が最も多く225名 (27%)、次いで高崎市145名 (18%)、前橋市143名 (17%) でした。



- ◆ 7月の年齢群別報告数は20歳代が284名 (35%) と最も多く、次いで30歳代が136名 (17%)、40歳代が133名 (16%) でした。20~40歳代で報告数の約7割を占めていました。

年齢群別割合 (2020年第10週 ~ 2021年第30週)



【参考：新型コロナウイルス感染症患者発生状況 (8月1日公表)】

県内患者発生数：8,896名 県内死亡者数：155名)

国内患者発生数 (感染者：厚労省発表)：925,823名

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム配列解析について (Vol.11)

1) 新型コロナウイルス変異株 PCR スクリーニング検査結果 (2021 年 7 月 30 日現在)

世界的にも感染が拡大し感染性や伝播性の増加等が懸念されるなど、WHO が「懸念される変異株」として警戒を強めている L452R 変異株の PCR スクリーニング検査が 23 週(6 月 7 日～13 日)以降実施されており、群馬県では現在までに 452R が 144 人確認されている。

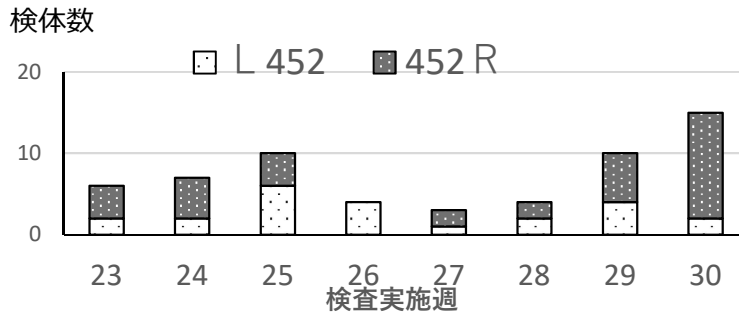


図1 衛生環境研究所で実施した L452R 変異株スクリーニング検査結果
(県外、民間検査機関、医療機関で検査実施されたもの、解析不明は含まれず)

2) 新型コロナウイルスゲノム配列解析結果 (2021 年 28 週(7 月 12 日～18 日)まで)

群馬県衛生環境研究所では、地域における感染状況の把握を目的として、国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センターの協力のもと新型コロナウイルスの全ゲノム配列の解析を行っている。検体採取週における系統の時系列チャートでは、N501Y 変異を有するアルファ株(B.1.1.7)が多く検出され始めた 13 週(3 月 29 日～4 月 4 日)以降は、E484K 変異を有する R.1 の検出が減少傾向となった。また、19 週(5 月 10 日～16 日)以降は L452R 変異を有するデルタ株(B.1.617.2 等)が検出され、増加傾向である。

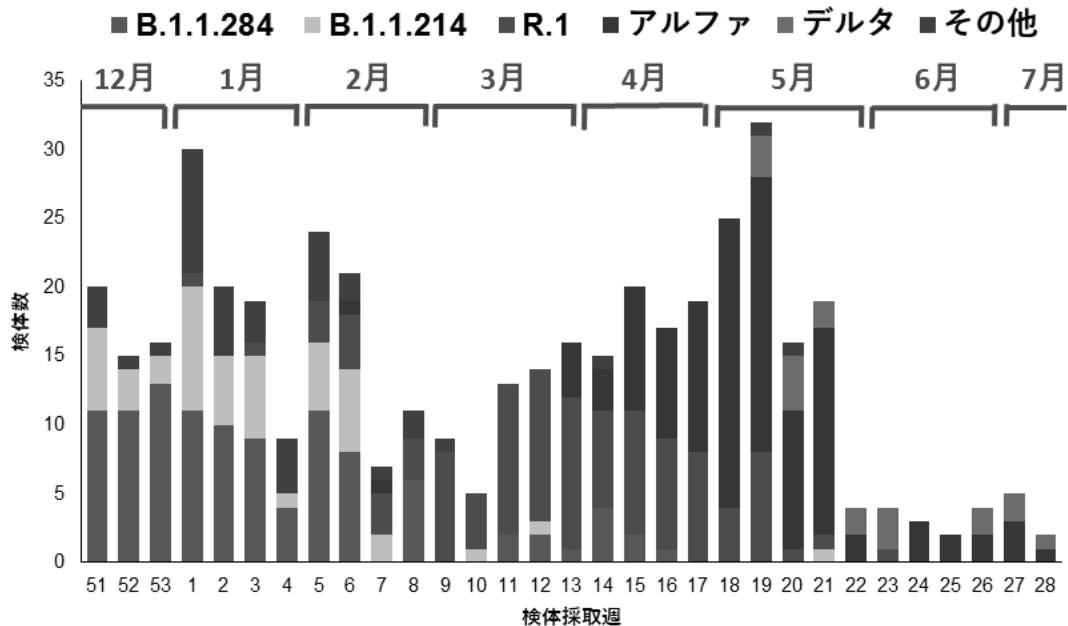


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析
(県外、民間検査機関から感染研に送付されたものは含まれず)